



VJU
Vietnam Japan University
VNU since 1906

(Press Release)

2023年8月8日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所・日越大学

報道関係各位

ASEANの大学発展に海外留学がどう貢献してきたのか？ 日越大学で JICA 緒方貞子平和開発研究所が研究成果を発表

2023年8月8日（火）、国際協力機構（JICA）と日越大学の共催により、JICA 緒方貞子平和開発研究所の萱島信子シニア・リサーチ・アドバイザー、早稲田大学大学院黒田一雄教授他が、ASEANの大学の発展に教員の海外留学（修士・博士）が及ぼしたインパクトに関する研究成果を発表しました。

本研究発表は、2019年から2022年にかけて行われたASEAN4か国（インドネシア、カンボジア、マレーシア、ベトナム）のトップ大学10大学の教員を対象とした約3,300件にも及ぶアンケート調査や各国でのインタビューの調査結果に基づくもので、ベトナムではベトナム国家大学ハノイ校（VNU）とハノイ工科大学（HUST）が調査の対象となりました。

発表では、いずれの国においても、教員が海外の大学へ留学することによって、帰国後の活動（教育・研究・社会貢献・大学運営）にポジティブなインパクトを及ぼしていることが報告されました。また、留学のインパクトは、国内的な教育研究活動よりも国際的な教育研究活動において著しいことや、対象国の高等教育の発展にともない、留学のインパクトの一部が小さくなることも明らかになりました。さらに、ベトナムの特異性として、留学による外国語の習得が他国よりも重要な意味を持つこと、また、留学先国としての日本は、留学後の指導教員との関係維持や学術協力の実施などに特色があることが分かりました。

これらの分析結果から、萱島氏は「留学の意義は、高等教育の発展に伴い『先進国からの知識や技術移転』から『国際的な学術ネットワーク形成の入口』へと変化している。ASEAN域内での学術交流・人的交流が増加しており、送出し国・受入れ国の両面を有するベトナムの役割が一層重要になると思われる」と指摘しました。

日越大学からは柳講師が本研究に参加しており、ベトナムの事例研究を発表しました。柳氏はベトナムにおいても教育、研究、社会貢献に対して、留学がポジティブなインパクトを及ぼしており、ベトナムの高等教育の発展に教員の留学が重要であると主張しました。一方で、留学から帰国した教員がむしろ自国の大学を取り巻く環境に戸惑うことやネットワークの喪失といった負の側面があることも指摘しました。



(Press Release)

なお、本研究の最終報告は来年出版の予定です。

お問い合わせ

日本語対応 JICA「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」

担当：辻本、川口

Email: tsujimoto.a@vju.ac.vn, kawaguchi.y@vju.ac.vn、